



NI Consulting 
Network Identity

可視化経営システムをオンプレミスでご利用のお客様へ

『VMS動作環境』 バージョンアップのご案内と移行のお願い

2020年3月23日（月）

株式会社 NIコンサルティング

はじめに

本書の目的

- NIコンサルティングが提供する可視化経営システム（VMS）をご利用のユーザー企業のご担当者向けの内容で、VMSの動作環境のバージョンアップの必要性をご理解頂き、新しいバージョンの動作環境へスムーズに移行する上でご準備頂きたい内容を事前にご案内するものです。
- 本書の内容は2020年3月時点のものであり、開発予定の内容が含まれており将来予告なく変更される可能性があります。また、本書の内容のすべてを保証するものではないことを予めご了承ください。

動作環境バージョンアップのご案内

2020年4月末より、新しいVMS動作環境をリリース致します。

✓ **新バージョン**
PHP7.3対応

✓ **リリース日**
2020年4月末～

動作環境移行のお願い

VMS動作環境のバージョンアップに伴い、誠に勝手ながら現在ご利用いただいているバージョンのVMS動作環境は **来年2021年6月末** をもってサポートを終了いたします。

動作環境の移行については専用の移行ツールをご提供する予定です。

つきましては、サポートの終了までに新しい動作環境への移行をお願い申し上げます。

- ✓ **現在ご利用の動作環境（PHP7.0）サポート終了期限
2021年6月末**
- ✓ **提供物**
移行ツールの提供（オンプレミスご利用クライアント企業様へ）
2020年5月末より出荷開始予定。

なぜ？バージョンアップが必要？

可視化経営支援システム（VMS）の動作環境（＝製品プラットフォーム）にはさまざまオープンソースソフトウェア（OSS）のミドルウェアやライブラリが利用されており、それらは継続的にバージョンアップが行われています。

そのなかでも製品内に採用されている「PHP（<https://www.php.net/>）」は、定期的にバージョンアップが行われており新しいバージョンがリリースされてから3年間はセキュリティ欠陥・その他バグフィックスなどのサポートが行われています。

参考 - PHPのサポートバージョン（英語）

<https://www.php.net/supported-versions.php>

このサポートが切れてしまうと将来一致命的なセキュリティ欠陥などがあった場合に適切な対応ができなくなるリスクが生じるなど、速やかなPHPのバージョンアップへの追従は必須となります。

他にもPHPの実行速度の改善などの恩恵を受けるためにも、更に、今後NIコンサルティングが最新技術を必要とするサービス・機能の開発・実現・提供し、それらのご利用のためにもPHPのバージョンアップが必要不可欠です。

サポートするバージョン・サイクル

NIコンサルティングが特定のPHPバージョンをサポートする期間は **5年間** です。

- ✓ 製品プラットフォームの開発サイクル4年+移行期間1年。
- ✓ 各バージョンは「うるう年の翌年6月」にサポートを終了。
- ✓ ただし、やむを得ない状況によっては期間が多少前後する場合があります。

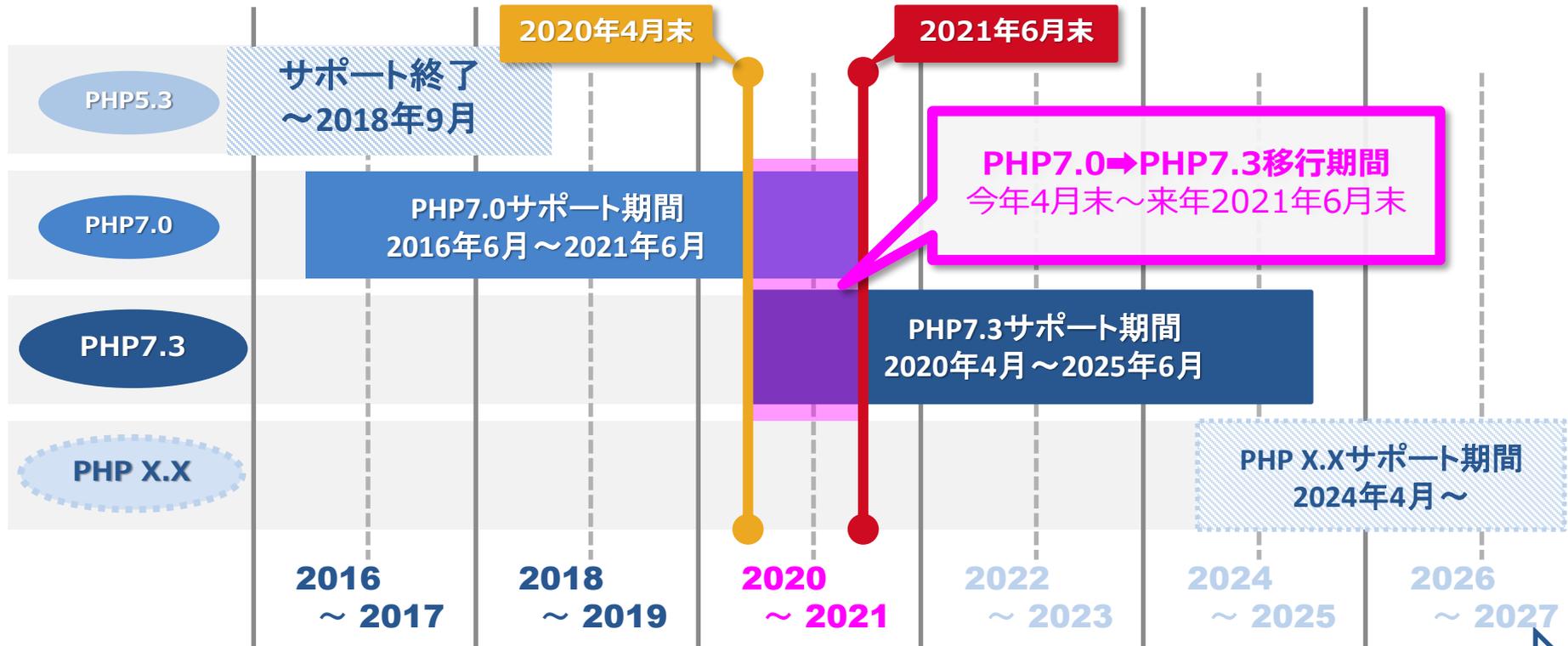


図. NIコンサルティングがサポートする製品環境のPHPバージョン

製品「見積共有管理」の終了

本内容は製品「見積共有管理」をご利用の場合は必ずお読みください。

- 新しいVMS動作環境では「見積共有管理」の製品プログラムは提供されません。
- 「見積共有管理」は2020年12月末をもってサポートを終了します。
- 新しいVMS動作環境へ移行するにあたり、見積書の電子データの保管※が必要であれば、事前にSales Quote Assistant への移行が必須です。

※電子帳簿保存法により7年間の保管義務が適用される場合があります。

移行手順の詳細につきましては移行マニュアルをご確認ください。

Sales Quote Assistant 移行マニュアル

http://ni-consul.jp/ni_us/manual/ge/niest/niest_to_sqa.pdf

見積共有管理の移行の特別措置

新しい動作環境の特別措置

- ✓ 見積共有管理からSQAへ移行済みであれば、新しい動作環境では Sales Force Assistant シリーズの商談情報に添付される見積書のリンクは、移行されているSQAの検索結果が開くように調整されます。
- ✓ もしも「見積番号」と「書類番号」が完全一致すれば直接SQAのフォームで開きます。



新しい環境では、見積共有管理は無くなるので、その代替としてSQAの検索結果画面を開きます。さらに対象が1件に絞れば直接フォームを開く制御になります。

なお、SQA移行していないと0件の検索結果になります。

新しい環境でも商談情報の上記の見積書情報まではSQAの移行に関わらず従来どおりに閲覧可。

重要！

「見積共有管理の見積番号 = SQAの書類番号」として移行されていることが前提です。

